

2013 年度
川上村地域づくりインターン
報告書

明治大学農学部 4年
北田裕也

インターン日程

8/6(火)	インターン事業説明、村長挨拶	8/13(火)	移動販売（ヨシスト号）同伴
8/7(水)	村内散策、樽丸づくり	8/14(水)	北和田盆踊り
8/8(木)	環境基本計画について、下多古集落調査	8/15(木)	下多古村有林見学、東川盆踊り
8/9(金)	森と水の源流館、達っちゃんクラブ準備など	8/16(金)	報告書作成
8/10(土)	達っちゃんクラブ(そうめん流し)手伝い	8/17(土)	かみせ祭り
8/11(日)	自由行動	8/18(日)	報告書作成
8/12(月)	水源地の森見学	8/19(月)	報告会

1. 川上村の買い物事情について

川上村のインターンに参加しようと思った理由

- ▶ 昨年夏の新潟県小千谷市へのインターン
- ▶ 滞在していた地区には小さな商店が1つのみ

住民は車で30分の市内に買い物へ...

10年後にもし車に乗れなくなったらと心配している人が多かった。

→村づくりに力を入れている川上村でも問題は進んでいるのか



テーマ：川上村の買い物事情について

現状・印象

人口30年前：8000人→今：1600人

→深刻な人口減少スピード

買い物できる場所：コンビニ・スーパー（ヨシスト）まで車で20～30分

→車がないと買い物が大変

そもそもご飯を買えないと住んでいくのは大変

→ヨシストの移動販売や生協の役割は大きい!!

ヨシストに同伴させてもらって

- ・回ったコース（大迫コース）

大迫→柏木→上多古→北和田→宮ノ平→瀬戸団地→粉尾→中奥→白川渡キャンプ場

買い物に行くのが大変な地区を中心に回った。

プラスに感じた点

- ・販売員が同じで住民と信頼関係を築ける
- ・移動販売車がくることで集落の人が集まる

→集落のコミュニケーションの場となる

- ・重い荷物を家まで届けてくれる

→リピーターになってくれるし、お客さんの異変に気付きやすい

- ・何より集落の多くのお年寄りが感謝していた

→この事業の大切さ

マイナスに感じた点

- ・商品の価格が高い、品数の少なさ

・利益を出すことよりは川上村の人にずっと利用してもらい、その恩返しという事業になっている

→経営が厳しくなると廃止の可能性はある

- ・役場のフォローが十分ではないとの声

→生活の利便性を高めるには必要ではないか

提案①

村がヨシストの手の届かない所をやる

↓

移動販売で人が集まる機会を利用して健康診断

買い物の機会を作りつつ、見守り機能ももたせる

→役場側から来てくれれば、今まで移動販売を利用してなかった人の「ついで買い」も生まれ、ヨシストにもメリット

↓

暮らしやすい村へ

提案②

「移動販売の商品を充実させる補助」

他の宅配業務を行う事業者とのマッチング

→配送コストの削減

村民が育てた野菜を買い取り、載せる

→地産地消、村民のやりがい UP、野菜の品評会の延長

2. インターン生活を終えて

川上村の良さをたくさん見れた

樽丸づくり、水源地の森探索、達っちゃんクラブ

盆踊り、移動販売体験、上多古川遊び、歴史の証人

他にも…

- ・林業に携わる方々の想い
- ・地元企業で働く方とのお話
- ・普段の生活ではあまり関われない方との交流

→役場の方々、林業関係者、住民団体のイベントスタッフ、盆踊りの手伝い、地域おこし協力隊、他大の学生等、普段の2週間で出会う10倍近くの人と出会えた

逆に課題も見れた

吉野林業の停滞

→間伐材の放置、吉野杉の販路開拓

- ・大滝ダム建設による水質の問題、村づくりの遅れ
- ・限界集落問題